めばえ

消防署見学～働く車を見てきたよ～

平成２９年度１０月１３日（金）
東北文教大学付属幼稚園
年中組だより

消防車や救急車は年間１万回出動しているそうです。（一日にすると、３０回も！）

１２日（木）、市民防災センターと山形市消防署西崎出張所に、消防署見学に出掛けてきました。大きな消防署が見えると「あそこに行くの？」と、目を輝かせて早くも大興奮の子ども達でした。ガイドの方に元気に挨拶をし、３クラスに分かれて見学のスタートです。

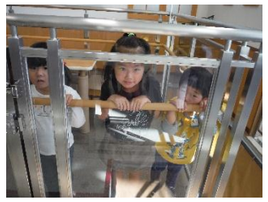
≪市民防災センター≫

地震体験

床が動く特殊な機械があり、地震の震度を体験しました。（対象年齢が５歳以上なので、５歳になった子どもと保育者は震度２～４までを体験し、４歳の子ども達は震度２を体験しました。）徐々に激しくなる揺れに、子ども達は驚きながらも真剣な表情で見入っていました。ガイドの方からは、地震がきたら頭を守る“だんごむしポーズ”をすること、お家の人と一緒に安全な場所へ逃げることを教えてもらいました。お買い物中に地震が起こった場合、買い物かごを被っても衝撃を抑えることができるそうです！

だんごむしで頭を守る！

グラグラするな～



なりきり体験

消防士さんが着用する防災服は、熱に強い頑丈な作りになっています。ヘルメットに顔を防御する布が付いていたり、靴の先は物がぶつかってもへっちゃらな程硬い作りになっていたりと、実際に本物の防災服に触れてくることができました。

その後、憧れの消防士さんと同じ服を着たり、ヘルメットを被ったりして、なりきり体験をしました。かっこいい敬礼のポーズをとって写真撮影をし、気分はすっかり消防士さんです。「本物の消防士さんみたーい！」「○○くん、かっこいい～！」と、自分や友達の、いつもとは違った姿に笑顔が溢れていました。

火に強いのかぁ…なるほどなるほど。

消防士さんは６０秒以内で着替えるよ！

消防の七つ道具！

ちびっこ消防隊！　みんなで敬礼！！

≪消防署≫

働く車を見たよ

市民防災センターの隣にある“山形市消防署西崎出張所”に移動して、救急車や大きな水槽が入っている消防車、消火栓から水をもらって火を消す消防車などの働く車を見せてもらいました。消防士さんに、水で火を消す消防車だけでなく、泡で火を消す消防車もあること、火事の現場に出動する時は、喉を火傷しないように空気マスクをすることなど、働く車について沢山のことを教えてもらい、真剣な表情で耳を傾けていました。消防士さんに積極的に質問する姿も見られ、疑問を持ちながら見学していることに成長を感じました。また、はしご車のはしごは３０メートルも伸びると言う話を聞いて、子ども達はより一層目を輝かせて見入っていました。間近で大きな車を見て「かっこいいなぁ。」「タイヤは私よりも大きいよ！」「乗ってみたいなー。」と、興味津々、大興奮の子ども達でした。何度か救急車が出動する場面を見て、消防士、レスキュー隊員への憧れの気持ちが芽生えたようでした。ちなみに、山形市には消防士が２５０名いて、うち１０名が女性の隊員だそうです！！

消防車の中には道具がいっぱい！

消防車には、隊長・機関員・隊員が乗ってるよ。

実際に救急車が出動！

→運転手＆レバー操作　→ホース持ち

火を消すホース↑

↑消火栓から水をもらうホース

＼ほしぐみ／

＼かわぐみ／

＼もりぐみ／

色々な体験をしたり、沢山の働く車を見せてもらったりして、帰りのバスの中では大満足の笑顔を浮かべていました。今回、消防署見学に行ったことで、“社会への興味”が膨らんだことでしょう。そして、実際に命を守っている仕事の様子を見て聞いて触れてきたことで、心も成長したことがうかがえました。また、防犯防災への意識も高まったことでしょう。